



第4回定例会では、14人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

議会を動画で見よう！

◆「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧いただけます。

◆一般質問記事の内側にある「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



南島原市議会 中継



真砂について伺う

市長 愛され続ける施設となるよう、市としても全面的に支援していきたい。



吉岡 巖 議員

真砂の改善計画について

議員 真砂の改善計画はどのようなものか。

市長 忘・新年会の新プランの設定や、チームひまわりと連携したスポーツ合宿プランの設定により収入増加を図り、仕入れ価格の見直しにより経費を削減し、収支改善を図っていく。原城温泉真砂は、本市になくてはならない重要な施設であり、観光客や地域住民に愛され続ける施設となるように市としても全面的に支援していきたいと考えている。

人材育成について

議員 スポーツ振興で、他市に比べて支援というものは結構多い訳だが、選手が全国大会・西日本大会に出場すれば相当の経費を要し、せめて旅費ぐらいは市の方で負担していただきたい。子供たちや一般が、全国大会、西日本大会に行くたびに、保護者たちが物販をしている。一般は仕事が終わったら一生懸命練習して、子供たちは学校の勉強が終わった後、日曜日にも一生懸命練習し、保護者たちは送り迎えをやっている。大会参加経費が

足りないだけで物販をしている。旅費だけは行政の方で負担してもらいたい。人材育成でできないのか。増額をして、子供たちが大会に行くときは、物販をしないで安心して行けるように実現するのは教育長の仕事。

教育長 私共も、限られた予算の中でいろいろな工夫、苦勞をしているところである。今おっしゃったことに関しては、しっかり胸に刻んで、今後改善できるところは改善していきたいと考えている。



勉強とスポーツを頑張る子供たち

高規格道路整備に向けて力強い取組を

市長 議会と連携し進めていきたい。



永池 充宏 議員

本市の交通環境の整備について

議員 本市の広域交通ネットワークの基本的な方針とこれまでの取組は。

市長 市内外を結ぶ国道、県道の充実に向けて国や県へ道路整備の要望を行っている。

議員 高規格道路島原道路の現在の進捗状況は。

市長 深江、諫早間約50kmのうち50%の25kmが供用開始されている。

議員 深江から南への計画はどうなっているのか。

建設部長 構想路線島原天草長島連絡道路として

議員 計画されている。

議員 本市への高規格道路の建設手段は、島原天草長島連絡道路の計画路線への格上げ以外に道はないのか。

建設部長 県においては深江から口之津まで、国においては鹿児島県阿久根市まで設定をされており、その路線の早期事業化を目指していく必要があると考えている。

議員 熊本、鹿児島両県との連携や機運の醸成など今までの取組は。

地域振興部長 島原天草長島架橋建設促進協議会を中心に要望活動や構想推進大会を実施している。

世界遺産センター整備事業について

議員 事業の進捗状況はどうなっているのか。

教育長 現在建築及び造成と展示に係る実施設計を進めている。今後用地買収、移転補償を行い用地造成に着手する。

議員 資材の高騰などによる事業費の見直し等による



構想路線島原天草長島連絡道路

議員 予算13億8千万円で今のところ計画どおり。

議員 物産館はどのような想定をしているのか。

農林水産部長 テナント事業者により運営し、地元産の農水産物の直売や土産物の販売、軽食等を提供できる施設を予定している。



世界遺産原城について

議員 世界遺産登録5周年記念事業の内容は。

教育長 登録5周年記念特別展「四郎と原城」や「原城一揆まつり秋の陣」などを開催している。

不登校児童の支援について

議員 児童生徒の不登校数とフリースクールに通っている人数は。

教育長 10月31日現在の不登校数は小学生12名、中学生23名、計35名である。適応指導教室「つばざ」に小学生2名、中学生5名、計7名、民間フリースクールに小学生3名、中学生3名、計6名が通っている。



田中 克彦 議員

中学校部活動地域移行がスムーズに進むためにふるさと応援寄附金の活用を。

地域振興部長 今後対応できるように検討していきたい。

代表者に出席扱いになる要件等について、説明会等はされていないのか。

教育長 現在ガイドラインの作成中である。作成後、学校に周知するとともに、フリースクール等の民間施設に対しても説明を行う予定である。

建設工事等の最低制限価格の設定について

議員 一般競争入札発注基準について伺う。

総務部長 現在の設定基準価格は、設計金額に搬送設備工事及び解体工事が80%、その他土木工事や建築工事等が90%を乗じた価格としている。

議員 長崎県をはじめ他市において、最低制限価格の改正が行われている中、本市においても92%に改正できないのか。

ふるさと応援寄附金について

総務部長 本市においても状況を踏まえて対応していきたい。

市長 検討する方向で考えている。

ふるさと応援寄附金について

議員 本年度のふるさと応援寄附の見込み額は。

地域振興部長 12億円を見込んでいます。

議員 中学校部活動地域移行がスムーズに進むために応援寄附金を活用できないか。

教育長 教育委員会としては、活用できるように検討していきたい。

議員 ふるさと応援寄附金の使い道の中に、スポーツに関する項目を入れていただきたい。

市長 スポーツの活躍は南島原市の誇りである。こういった形で支援できるか検討していきたい。

その他の質問

○自治会制度の見直しについて

